

くらしを守る新宿区政へ 実現します!



日本共産党カクサン部!
部長 賀来三四郎
©カクサン部!

消費税8%に物価高。
アベノミクスで
格差は広がるばかり。
こんな時だから

5つの提案

区の積立金は346億円(2013年度末)
区民のためにもっとできることがある!

子育て

待機児ゼロへ、認可保育園増設
区立幼稚園全園で3歳児保育・預かり保育実施
学童クラブ増設

今年2月18日の時点で、4月から認可保育園に入れなかった子どもが457人。公有地も活用して、待機児ゼロへ全力をあげます。子育ての願いにまっただしでこたえる区政をつくりまします。

介護

特別養護老人ホームの増設
介護保険料・利用料の負担軽減
区独自のホームヘルプサービスの拡充

特養ホームの待機者は979人(昨年11月)。他区がやっているような保険料・利用料の負担軽減、区独自のホームヘルプサービスもたいへん遅れています。「住み慣れたまちで安心の介護」をめざします。

医療

国民健康保険料の負担軽減
高齢者・低所得者の医療費窓口負担軽減
がん検診を無料に

毎年上がり続ける国民健康保険料は負担の限界を超えています。ところが現区長は、来年度さらに上げることが「適切」だと述べています。いのちとくらしを守るために、保険料、医療費、検診費用の負担を軽減します。

若い世代女性

区役所に労働相談窓口を開設
家賃補助の大幅拡充
給付型奨学金の拡充。職場の均等待遇促進

学生・勤労青年用を大幅に拡大
新婚世帯用を復活
ブラック企業根絶へ全力。若い世代、女性の雇用、くらしを応援します。

防災まちづくり

耐震工事助成の拡充
区営住宅の新規建設。コミュニティバス実現
商店リニューアル助成。スポーツ施設利用料引き下げ

対象を建て替え、解体に広げ、所得と地域の制限をなくします
現区長は「所有者の自己責任」だと言って、耐震工事助成の拡充に取り組もうとしません。区民の安心・安全の確保は区政の大事な役割。実現へがんばります。

その他の政策は [共産党新宿区議団](#) [検索](#) [共産党新宿ボイス](#) [検索](#)

新宿区議会議員

日本共産党

川村のりあき

1971年岩手県花巻市生まれ。働きながら早稲田大学第二文学部卒業。区議3期。党区議団政調会長。「人生のあらゆる場面で手助けできる存在になりたい」が信条です。家族は、妻と3女1男。ぽっぽのいえほいくえん相談役。新宿消防団員。

日本共産党を伸ばして 国民の声で政治を動かそう!

日本共産党は一昨年の参院選で議席を増やし、ブラック企業規制法案を提出。厚労省は、ブラック企業の重点監督と悪質な企業名公表の通達を出しました。昨年の衆院選でも躍進し、安倍暴走政治とキッパリ対決。議案提案権をつかい、政党助成金廃止法案を提出しました。

今度は新宿区政です。定数38のうち、いま日本共産党は8議席(他党は、自民9、公明9、民主・無所属クラブ4など)。日本共産党は、区民要求実現へ区政を大きく動かしてきました。

この力をもっと大きくしてください。

今度は区政で8人から9人に

日本共産党が17議席に躍進した都政では、保育園と特養ホームの大幅増設計画、3年間で1万5千人を非正規から正規雇用に転換する計画など、くらしの願いが実現し始めています。

今度は、区政で日本共産党をのばしてください。



日本共産党都議会議員
大山とも子



前都知事候補 弁護士
宇都宮健児

ブレずにがんばる
共産党に期待

ブレずにスジを通し、区民要求実現に取り組む共産党区議団が前進し、さらに大きな力を発揮するよう期待します。

平和と希望のまち新宿へ

新宿区議会から「戦争する国づくりノー」の声をあげ、平和と希望のまち新宿をつくるために、日本共産党に躍進してほしいと思います。



前新宿区長候補 弁護士
岸 松江

子どもたちを戦場に送らない

「集団的自衛権」の具体化ストップ! 憲法9条を守りぬきます

条例提案し
建設的提案

区民運動と
力をあわせて

ダメなものはダメ
区政をチェック

頼りになる
相談相手

この力をもっと大きく
8人から9人に

左から、佐藤佳一、雨宮たけひこ、あべ早苗、沢田あゆみ、藤原たけき、近藤なつ子、あざみ民栄、田中のりひで、川村のりあき

みなさんと力をあわせ 区政を変えてきました

日本共産党新宿区議団が取り組んでいる区政アンケートには、毎年1200～2000通の返信が寄せられます。区民の声が生きる区政へ全力でがんばり、区の方針をたびたび変えさせて、くらしの願いを実現してきました。



区の方針
変えさせ

認可保育園8園増設

2年間(2013年度～15年度)で
906人の定員増

待機児が増え続けているのに、自民・公明区政は、定員拡大によるつめこみと、保育料が高い認証保育所を増やして、のりきろうとしてきました。日本共産党は保護者のみなさんの切実な声を区議会で訴え続け、区はついに認可保育園の増設へ方針を転換。2014年度に4園、15年度も4園が新設されます。

保護者のみなさんの
運動を応援

学童クラブを新設

待機児童が発生した落合第四小学校の地域に学童クラブの増設を求める2033人の陳情が区議会に寄せられました。日本共産党は、保護者のみなさんの運動を応援。区議会の委員会で、毎月この問題を区に報告させて質問するなどの努力を続けた結果、今年4月に新しい学童クラブが開設されることになりました。



公有地の活用
を提案し

特別養護老人ホーム増設

130床の
開設される
下落合駅近くに
下合台
開設される
130床の特養ホーム



日本共産党は「公有地を活用して区内に介護施設を」と訴えてきました。2010年に東戸山中学校跡地に小規模介護施設、11年には牛込消防署跡地に特養ホームが開設。さらに「下落合駅近くの国有地に」と提案。前区長は「そのような考えはない」と言っていたが、ねばり強く要求し、実現させました。

長年の願い

区内初の障がい者入所施設が実現

“いつでも会いに行けるように、身近な所に入所施設を”—日本共産党は、障がい者の家族のみなさんの願いを実現しようとがんばってきました。20年前から「弁天町の国有地を区民のために活用を」と、国会要請や区議会で要望し続けました。区が4年前に国有地の取得を決断し、区内初の知的障がい者入所施設が間もなく完成します。



右が障がい者入所施設
左は区営住宅

議員の大事な仕事

条例提案で願い実現

日本共産党はこの4年間に18本の条例を区議会に提案。毎年、予算の修正も提案しています。これは、日本共産党だけです。

条例提案が実り、**65歳以上の方などの肺炎球菌ワクチンの予防接種に半額の4000円の助成**、「空き家の防災防犯が心配」の声にこたえ、区が**空き家を調査して対策を指導する条例**が実現しました。

日本共産党をのぼし、安倍政権の暴走ストップ 区政は、国いいなりではなく、くらしのサポーターに

自民党をのぼして
いいのでしょうか

自民党は国会で多数の議席を占めています。新宿でさらに自民党が増えたら、集团的自衛権、原発再稼働、年金削減、「介護難民」を激増させる介護報酬削減や、残業代ゼロ制度、派遣法改悪など、安倍政権の暴走はいつそうすすむでしょう。

暴走政治は、新宿区政にとっても大問題です。自民・公明が与党の現区長は、「消費税率の引き上げは必要」と言い、国民健康保険料や介護保険料をさらに引き上げようとしています。一方で力を入れようとしているのは、新宿駅周辺の再開発と、安倍政権が新宿に押しつけた国家戦略特区=外国の投資家のためのまちづくりです。

必要なのは、安倍政権いいなりでなく、暴走政治から区民のくらしを守る新宿区政ではないでしょうか。

区政でもぜひ日本共産党を伸ばしてください。

自民、公明、民主、区民主権の会

国民健康保険料・介護保険料値上げ、戸山第三保育園廃園 ——区長の提案には何でも賛成

自民、公明、民主、区民主権の会はこの4年間、区長の提案にすべて賛成してきました。2014年度の国保料は、たとえば年収311万円の若い夫婦世帯の場合、2010年度の年間16万5200円から22万7800円へ上がり、家計を大きく圧迫しています。

一方、区民のみなさんの要望をもとに日本共産党が条例提案した区独自のホームヘルプサービスの実施やがん検診無料化などには、反対してきました。

区民に負担を押しつけながら、区議の報酬値上げは賛成

昨年12月の区議会に区議会議員の報酬を上げる条例が提案されました。日本共産党は「区民の理解がえられない」と反対しましたが、これらの会派は賛成しました。

平和の願いつづいた
自民、公明、区民主権の会

昨年秋、区内の弁護士103人が区議会に「集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書」の採択を求める陳情を提出しました。

日本共産党は「平和を守る意思表示を」と採択を主張。14人の議員が賛成しましたが、自民、公明、区民主権の会の20人が反対し、不採択となりました。